

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公表番号】特表2018-510879(P2018-510879A)

【公表日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-015

【出願番号】特願2017-550240(P2017-550240)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 K 35/545 (2015.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 38/16

A 6 1 K 35/545

A 6 1 K 35/17 Z

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 16/28 Z N A

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月13日(2019.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自己免疫疾患、線維症、および癌からなるリストから選択される少なくとも 1 つの障害の処置で使用するシンデカン-2 のモジュレーターであって、シンデカン-2 のモジュレーターは、シンデカン-2 の細胞外ドメインの少なくとも一部を含む第 1 の部分と、二

量体化ドメインを含む第 2 の部分とを含む、シンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 2】

細胞表面のシンデカン-2 と結合する、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 3】

細胞表面のシンデカン-2 と架橋する、請求項 1 または 2 のいずれかに記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 4】

N F κ B を阻害する、請求項 1 - 3 のいずれかに記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 5】

シンデカン-2 の細胞外ドメインの少なくとも一部は、シンデカン-2 の細胞外ドメインの少なくとも 40 の連続した残基のセグメントに対して 80 % の同一性を有するポリペプチドを含む、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 6】

シンデカン-2 の細胞外ドメインの少なくとも一部は SEQ ID NO : 4 - 13 の配列から選択されたアミノ酸配列を有する、請求項 5 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 7】

二量体化ドメインは F c 部分を含む、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 8】

少なくとも 30 % のシンデカン-2 陽性細胞を含む投与された幹細胞の母集団と組み合わせて使用される、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 9】

少なくとも 1 つの T 細胞と組み合わせて使用され、障害は自己免疫疾患である、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 10】

非ステロイド系抗炎症薬 (NSAID)、イブプロフェン、ナプロキセン、メロキシカム、エトドラク、ナブメトン、スリンダク、トレメンチン、サリチル酸コリンマグネシウム、ジクロフェナク、ジフルシナル、インドメタシン、ケトプロフェン、メロキシカム、オキサプロジン、ピロキシカム、セレコキシブ、エトリコキシブ、ルミラコキシブ、コルチコステロイド、メトトレキサート、ヒドロキシクロロキン、スルファサラジン、レフルノミド、TNF α 阻害剤、エタネルセプト、アダリムマブ、インフリキシマブ、セルトリズマブベゴル、ゴリムマブ、アバタセプト、リツキシマブ、トシリズマブ、アナキンラ、シクロスポリン、抗胸腺細胞グロブリン、ミコフェノール酸モフェチル、およびシクロホスファミドからなるリストから選択された少なくとも 1 つのアジュバントと組み合わせて自己免疫疾患を処置するために使用される、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 11】

腫瘍浸潤リンパ球 (TIL)、幹中央記憶 T 細胞、CAR-T 細胞、TCR-T 細胞、およびナチュラルキラー (NK) 細胞からなるリストから選択される少なくとも 1 つの抗癌細胞と組み合わせて癌を処置するために使用される、請求項 1 に記載のシンデカン-2 のモジュレーター。

【請求項 12】

メトトレキサート (RHEUMATREX (登録商標)、アメトプテリン)、シクロホスファミド (CYTOXAN (登録商標))、サリドマイド (THALIDOMID (登録商標))、アクリジンカルボキサミド、actimid (登録商標)、アクチノマイシン、17-N-アリルアミノ-17-デメトキシゲルダナマイシン、アミノプテリン、アムサクリン、アントラサイクリン、抗悪性腫瘍薬、アンチネオプラストン、5-アザシチ

ジン、アザチオプリン、BL22、ベンダムスチン、ビリコダル、ブレオマイシン、ボルテゾミブ、プリオスタチン、プスルファン、カリクリン、カンプトテシン、カペシタビン、カルボプラチン、セツキシマブ、クロラムブシル、シスプラチン、クラドリビン、クロファラビン、シタラビン、ダカルバジン、ダサチニブ、ダウノルビシン、デシタビン、ジクロロ酢酸、ディスコデルモリド、ドセタキセル、ドキソルビシン、エピルビシン、エボチロン、エリブリン、エストラムスチン、エトポシド、エキサテカン、エクシスリンド、フェルギノール、フロクスウリジン、フルダラビン、フルオロウラシル、ホスフェストロール、ホテムスチン、ガンシクロビル、ゲムシタビン、ヒドロキシ尿素、IT-101、イダルビシン、イホスファミド、イミキモド、イリノテカン、イロフルベン、イクサベピロン、ラニクイダル、ラパチニブ、レナリドミド、ロムスチン、ラルトテカン、マホスファミド、マソプロコール、メクロレタミン、メルファラン、メルカプトプリン、マイトマイシン、ミトタン、ミトキサントロン、ネララビン、ニロチニブ、オブリメルセン、オキサリプラチン、PAC-1、パクリタキセル、ペメトレキセド、ペントスタチン、ピボプロマン、ピクサントロン、プリカマイシン、プロカルバジン、プロテアソーム阻害剤（例えばボルテゾミブ）、ラルチトレキセド、レベッカマイシン、revlimid（登録商標）、ルピテカン、SN-38、サリノスポラミドA、サトラプラチン、ストレプトゾトシン、スウェインソニン、タリクイダル、タキサン、テガフルーウラシル、テモゾロミド、テストラクトン、チオTEPA、チオグアニン、トポテカン、トラベクテジン、トレチノイン、四硝酸トリプラチン、トリス（2-クロロエチル）アミン、トロキサシタビン、ウラシルマスタード、バルルビシン、ビンブラスチン、ビンクリスチン、ビノレルビン、ポリノスタット、およびゾスキダルからなる群から選択される少なくとも1つの抗癌剤と組み合わせて癌を処置するために使用される、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。

【請求項13】

ニンテダニブ、ピルフェニドン、コルチコステロイド、アルブテロール、レバブテロール、サルメテロール、ホルモテロール、フロベント、およびバルミコートからなる群から選択された少なくとも1つの線維症用治療を施すことを含む線維性疾患の処置に使用される、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。

【請求項14】

静脈内投与のために構成される、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。

【請求項15】

シンデカン-2の細胞外ドメインの少なくとも一部は、SEQ ID NO:1に対して少なくとも80%の同一性を有するポリペプチドを含む、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。

【請求項16】

シンデカン-2の細胞外ドメインの少なくとも一部は、SEQ ID NO:1に対して少なくとも90%の同一性を有するポリペプチドを含む、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。

【請求項17】

シンデカン-2の細胞外ドメインの少なくとも一部は、SEQ ID NO:1の少なくとも20の連続した残基を有するポリペプチドを含む、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。

【請求項18】

シンデカン-2の細胞外ドメインの少なくとも一部は、SEQ ID NO:1の少なくとも50の連続した残基を有するポリペプチドを含む、請求項1に記載のシンデカン-2のモジュレーター。